

新年あけましておめでとうございます！！

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、1月の名護市長選挙から11月の知事選まで、沖縄は選挙の年でした。問われたのは沖縄の基地問題、経済・雇用問題などでしたが、辺野古に基地はつくらせないというのが沖縄県民の総意となり全国にアピールできた年だと思えます。普天間基地の早期閉鎖、撤去に向けて今年も県民と日米両政府との対決の構図は変わりませんが、平和や暮らしを守る課題に積極的に取り組んでいきたいと思えます。

さて昨年も、中部協同病院においては、医療活動が大きく前進しました。職員の数や病院利用者が増え、様々な取り組みが行われ、多くの医療分野で前進し、経営も大きく改善しました。

健診活動では、健診専任の医師が4月に着任し、受信者が増え、健診室は手狭になってきました。そのため、運動療法室を地下に拡張移転し、これまでの運動療法室を健診室として利用するため、現在、改修工事が進行中です。1月には完成する予定です。

病棟では、2008年に導入した電子カルテを病棟にも導入し、一段とIT技術の活用がすすんだ年になりました。また、病棟医療のさらなる改善のためリハビリ医療を充実していきたいと思えます。今年もセラピスト（＝理学療法士など）の増員を予定しています。

地域との交流・連携では、中部地域における医療・福祉機関との医療連携もさらに進み、紹介入院患者が増えました。中部協同病院の病棟では主に亜急性期・急性期医療を

担い、様々な医療要求に応えていきたいと思えます。

また一昨年、新型インフルエンザのため中止となった健康まつりは昨年復活し、組合員や地域の皆さんに喜ばれました。特に、初めて近くの公園で開催し、広々とした会場と天気にも恵まれ、開放感に満ち溢れた催しになったと思えます。

念願だった、医療生協の高齢者住宅の美里ハウスも5月にオープンし、中部地域における医療生協の活動の幅が広がってきました。また、生活に困っている人のために、10月に2病院4診療所で、無料低額診療所事業を開始しました。すでに、この制度を中部地域では14の方が利用しています。

病院に対しては、病院利用委員会や投書などで様々なご指摘がありました。接遇の改善などご指摘の点を今後、強化していきたいと思えます。

今年も、地域に目を向け、地域の医療・介護・福祉機関と連携を強化し、また、医療の質を向上させ、地域に役立つ、信頼される医療・介護活動を目指していきたいと思えます。

本年もよろしくお願いいたします。



(中部協同病院 院長 与儀 洋和)



(事務長 名嘉 共道)

あけましておめでとうございます。激動の二〇一〇年が終わり、新しい年がスタートしました。昨年は中部協同病院にとって非常に大きな飛躍の年となりました。経営的にも組織的にも大きく成長し、医療機関としてしっかりと基礎固めができました。今年はそれを土台に、医療・介護活動の質的な飛躍が果たされるよう、全職員で取り組んでいきたいと思えます。

医療を取り巻く情勢は一向に改善しません。中部協同病院は医療生協の活動理念、組合員の協力協同の大きな支え、そして民医連の理念を原動力とした医療・介護活動の展開で前進してきました。社会全体を取り巻く経済状況の悪化、雇用の不安定化、貧富格差拡大、貧困層の拡大など、安心して健康に生活していくにはあまりにも困難を伴うようになってきた中で、私たちは、それらの人々に寄り添える医療機関として、今年も奮闘していきたいと思えます。

二〇一一年明けましておめでとうございます。

昨年、中部協同病院では医療連携が進み、地域でのポジショニングの確立と職員の奮闘で医療活動が大きく前進した年でした。地域活動においても班会、健康チェック、健康まつり、六支部との懇親会など、組合員さんとの協同の取り組みが進んだ年でもあったと思えます。また、「命の平等」をめざして開始した無料低額診療事業は予想以上の反応で「無差別平等の医療」の実践に医療生協の存在意義を大きく感じております。今年も地域組合員さんから信頼される病院を目指し「医療生協人」としての力を発揮できるように頑張りたいと思えます。また、看護部としての今年一番の課題は「医療生協の患者の権利章典」にもとづいた接遇改善です。「接遇は看護の原点」という視点を持ち心から満足してもらえたいと思えます。

今年もどうぞよろしくお願いいたします。

(総師長 大城 真千子)



新年職をむかえました。

私と医生協のつながりは中協ができる数年前より中部協同病院建設委員会に参加し、義父と共に日中は開院PRのための看板作り・張り、夜は地域との懇談会に参加し、組合員増やし、増資の説明などを行いました。建設予定地はまだ整地されず雨降ると靴が泥だらけになりました。泥の中での活動したことを思い出します。病院の起工式・落成式は職員・地域の方々と一丸となって盛大に行われました。昭和六十二年四月中協が開院し。十二月に私はもっている資格が理髪師というだけ何も分らないまま看護助手として二人の職員に強く勧められて入職しました。二階・三階・四階病棟、ホームヘルプはては沖繩協同病院への部署移動もあり、いろいろと貴重な体験が出来ました。病棟では外出もままならない患者さんの散髪をして喜んでもらい、そのふれあいが組合員増やし・増資につながりになりました。

2011年新春のつどい開催日程

下記の日程にて、今年も新春のつどいを開催いたします。多くの組合員さんのご参加をお待ちしております。

- 具志川支部新春のつどい
日時：1月29日(土) 午後6時～
場所：うるみん 会費：1000円
- 宜野湾支部新春のつどい
日時：1月30日(日) 午後6時～
場所：宜野湾市社会福祉センター2階
会費：1000円
- 沖縄市支部新春のつどい
日時：1月22日(土) 午後6時～
場所：沖縄市かりゆし園ホール
会費：1000円
- 読谷支部新春のつどい
日時：1月29日(土) 午後6時～
場所：読谷村文化センター中ホール
会費：1000円
- 石川支部新春のつどい
日時：1月26日(水) 午後6時～
場所：石川商工会館
会費：1000円
- 与勝支部新春のつどい
日時：2月12日(土) 午後12時～
場所：内間支部長宅 会費：500円

介護保険が実施されてからは「月曜・火曜の嘉陽さんよ」と覚えやすい名前を武器に高齢者のケアをしています。在職中にヘルパー一級・圧力容器作業の資格・有償運送運転者の資格等を取得し、よりよい介護が出来るように努力しました。平和運動など公私ともに充実の約二十三年でした。特に孫たちと一緒に平和自転車リレーに参加し、北海道で各民医連との交流もでき、友達もでき、駅伝を楽しんだことは一番の思い出となりました。今でも交流があり、今後もつながっていくことが大きな財産であります。定年後も、引き続き働く機会をもらいました。これからもよろしく願います。最後にこれまで共に仕事をしてきた皆様に感謝を申し上げます。
(通所リハビリ室 嘉陽 園子)



通所リハビリ室クリスマスパーティー!

去る12月15日(水)に例年通り、通所リハビリ室にてクリスマス会が行われました。今年も余興をしてくれたのは近くの白鳥保育園のかわいい園児たちで、元気よく歌や踊りを披露してくれました。特に盛り上がったのは「ゴーヤーチャンプルー」を作って通所者に味見させる寸劇でした。できたチャンプルーを園児が、さあどうぞと渡し、通所者は「ハイ、頂きます。」と受け取り、食べて味見をする愛らしいやり取りがありました。子供たちからパワーをもらって元気が出ました。そして恒例のサンタさんからの贈り物は栄養管理室の調理師が手作りしたカップケーキが一人ずつプレゼントされました。通所者もサンタさんよりプレゼントがあり、その場で開ける人、大切そうにカバンにしまう人ありで本当にうれしそうでした。スタッフは通所者それぞれにあったプレゼントを準備していますが、通所者が喜んでくれる事が一番うれしいです。クリスマスパーティーを盛り上げてくれた保育園児、先生方や栄養管理室とサンタさんの協力なしでは開催できませんでした。本当にありがとうございました。
(通所リハビリ室 当真 学)



去る十二月十一日(土)、事務長の発案により「第一回中協事務職員研究成果発表会」が開催されました。テーマは「業務改善及び業務改善への提案」「部署及び個々の能力向上の経験や提案」「民医連・医療生協活動の発展における事務職の役割」、この中から一人一演題、発表時間八分、資料はパワーポイントのみ。中協の事務職員のほとんどがパワーポイントを使うことすら初めての経験で、発表一週間前ともなるとどこへ行くにもノートパソコンを片手にうつつろな状態の職員が続出しました。発表会は十六演題、約四時間にも及び「入院・外来における減点査定」の現状や「経費削減の取り組みについて」など演題も多岐にわたり、

第1回事務職員研究成果発表会

全職員の努力の成果が現れた研究発表会となりました。今回の企画については約半年前から取り組まれており、職員一人一人が自分で演題を見つけてその演題に対する情報を収集・分析、その中で導き出された成果や自身の考えをまとめ発表するという目的で開催されましたが抄録作りからパワーポイントまで個々の事務職としての力量アップにつながったと思います。また、病院の経営という視点から改めて日々の業務を振り返り、深く掘り下げる良い機会になりました。
(総務課長 宮国 迅)

